ズーム H6studio各部の説明

（音声読み上げ用）

本体を、傾斜が付いたつるっとした四角いディスプレイのある面を上に向け、2つの円筒形のマイクが交差する部分を時計の12時方向へ向けて、机の上に置いてください。

H6studioの各部を次の順番で説明します。本体上部、ディスプレイのある本体正面、本体下部、左ソク面、右ソク面、最後に背面の順番です。

# 本体上部

お買い上げ時にはマイクカプセルXYH-5sが装着されています。

## 最上部には2本の円筒形マイクがXY配置で並んでいます。マイクのざらざらしたメッシュ部分は壊れやすいため、強く押さないように注意してください。

## それぞれのマイクは支柱と短いケーブルでカプセルのベース部分に接続されています。

## 前面中央にはマイクカプセルロックキーがあります。カプセルを取り外すときは、マイクカプセルロックキーを押し上げながら、マイクカプセルをディスプレイのある本体正面に向かってスライドします。マイクカプセルを取り付けるときは、マイクカプセルロックキーを正面にして、マイクカプセルの2本のレールを本体の2本のミゾに合わせ、背面に向かってカチッというまでスライドしてください。

# ディスプレイのある本体正面

上から順に、次のように位置します。

## マイクカプセルロックキーの下、左右に丸い2つのMIC GAINノブがあります。製品出荷時は左のノブでマイクの入力レベルを調節します。右のノブはゲインノブLinkの設定を変更することで有効になります。最大と最小で回転が止まります。

## 2つのノブの間に、四角いMICトラックキーがあります。MICトラックの録音を有効または無効に設定するときに押します。トラックキーの上の小さなくぼみは、ステータス・インジケーターで、録音が有効になると赤く点灯します。

## その下の左右に、四角い2つのトラックキーがあります。左から順にINPUT１、INPUT２のトラックキーです。それぞれのトラックキーの上にある小さなくぼみはステータス・インジケーターです。

## 2つのキーの外側に、丸い2つのノブがあります。左のノブでINPUT 1の入力音量を、右のノブでINPUT 2の入力音量を調節します。

## その下の中央に小さな穴がたくさん開いています。内蔵スピーカーです。

## その下の左右に丸い2つのノブがあります。左のノブでINPUT 3の入力音量を、右のノブでINPUT 4の入力音量を調節します。

## それらのGAINノブの間に2つのトラックキーが左右に並んでいます。左から順にINPUT３、INPUT４のトラックキーです。それぞれのトラックキーの上にある小さなくぼみはステータス・インジケーターです。

## その下には、左右に縦2個ずつの小さな丸いキーと、中央の丸い大きなキーのグループがあります。（以下、5個の丸いキーのグループと表現）

5個の丸いキーのグループには、次の役割があります。

### 中央の大きなキーはRECキーです。録音を開始、または停止します。録音中は左上のインジケーターが点灯します。

### 左上にあるのはSTOPキーです。録音や再生を停止します。

### 左下にあるのはREWキーです。再生中または一時停止中に、前のファイル、ファイルの先頭、または前のマークに移動します。長押しすると、早戻しします。

### 右上にあるのはPLAY/PAUSEキーです。録音したファイルを再生、または一時停止します。

### 右下にあるのはFFキーです。再生中または一時停止中に、次のファイル、次のマークに移動します。長押しすると、早送りします。ki

## 5個の丸いキーのグループの下には二つの四角いキーがあります。左側のキーはRECモードキーで、16/24bit フィックスドと32bit floatの録音フォーマットを切り替えるときに押します。左上と左下にある小さなくぼみは、どちらを選択しているかを示すインジケーターです。16/24bit フィックスドのとき左上のインジケーターが、32bit floatのとき左下のインジケーターが赤く点灯します。

## 右側のキーはディスプレイキーです。ディスプレイの表示を、レベルメーターと波形、レベルメーターのみ、波形のみの表示に、順番に切り替えます。

## 一番下にはつるっとした四角いディスプレイがあります。

# 本体下部

左から順に次のように位置します。

## 本体正面寄りに電源スイッチがあります。左に引いて留めると電源オンまたはオフします。カチッというまで右に押すと、全てのキー操作が無効になります。これをホールド機能と呼びます。

## 製品背面に向かって、左のストラップ穴があります。

## 中央に、製品背面に向かって、四角いシリコンゴムのカバーがついたREMOTE端子があります。専用無線アダプタービーティーエー1などを取り付けます。カバーは背面側から爪を入れて取り外し可能です。

## 製品背面に向かって、右のストラップ穴があります。

# 左ソク面

上から順に次のように位置します。

## INPUT 1コンボジャック、製品上部に向かって取り外しボタン

## その下にINPUT 3コンボジャック、製品下部に向かって取り外しボタン

## その下、本体正面寄りにヘッドフォン／スピーカー音量ダイヤル。最大と最小で回転が止まります。

## その下にヘッドフォン端子。ステレオミニ端子です。

## その下にUSB Type-C端子。本体上部側と本体下部側の小さな丸はネジどめの穴です。

## その下にライン出力端子。ステレオミニ端子です。

# 右ソク面

## 上から順に次のように位置します。

## マイクカプセルのベース部分にマイク／ライン入力端子。ステレオミニ端子です。

## その下、INPUT 2コンボジャック、製品上部に向かって取り外しボタン

## その下、INPUT 4コンボジャック、製品下部に向かって取り外しボタン

## その下、本体正面寄りにセレクトダイヤル、背面寄りに四角いENTERキー

## その下、microSDカードスロットの蓋。本体正面側に爪をかける切り欠きがあり、本体正面から背面方向に開きます。microSDカードを入れるときは、microSDカードの切り欠きが上になる向きで、端子面を背面にして、カチッというまで押し込んでください。取り出す時はもう一度押し込んでください。

# 背面

本体を裏返してください。上から順に次のように位置します。

## マイクカプセルのベース部分には、左右に1つずつ楕円形のゴム足があります。そのあいだには四角いラベルが貼ってあります。

## その下、本体の一番上、左右のカド付近に、1つずつ楕円形のゴム足があります。

## その下には、大きな四角いラベルが貼ってあり、その右下に細長い小さなラベルが貼ってあります。

## そのまま下にいくと、中央には三脚に取り付けるためのネジ穴（1/4インチ）があります。

## さらにそのまま下にいくと、電池カバーを取り外すための爪があります。爪を上に押しながら持ち上げることでひらけます。この製品は単3電池を4本使用します。電池を入れるときは、まず本体の電池収納部にあるリボンを左方向に引っ張るようにして、その上から電池のマイナス側をバネのある側に合わせて入れて下さい。電池カバーを付けるときは、リボンが電池収納部の内側に入るよう折りたたんで、電池カバーのウエ側にある2つの小さな爪を、本体の電池収納部のウエ側の溝に合わせて嵌めこみ、下側をカチッというまで押してください。電池をとりはずす時は、電池が飛び出さないように手で押さえながら、リボンを引っ張ってください。

## 電池カバーの爪の左右には、1つずつ楕円形のゴム足があります。さらにそれらの外側の少し下には、丸いネジ穴があります。

## 左右のゴム足の下には、それぞれ左と右にストラップ穴があります。

以上でH6studioの各部の説明は終了です。

© 2025 ZOOM CORPORATION Z2I-5788-01